



本メールマガジンは山梨大学 新技術情報クラブ会員の皆様へ

最新情報をお知らせする目的で配信しております。

メール配信を希望されない方は、「配信停止」とお書きの上、ご返信ください。

インフォメーション 目次

- 01 : トピックス (4 件)
- 02 : 公募情報 (4 件)
- 03 : プレスリリース (2 件)
- 04 : イベント案内 (3 件)



01 トピックス (4 件)

【1】 3/8 「山梨大学新技術情報クラブ 2016 年度第二回交流会」開催

3/8 に山梨大学新技術情報クラブの 2016 年度第二回交流会を開催いたしました。会員の皆様にはお忙しい中、交流会および懇親会に多数のご参加ありがとうございました。

来年度も新技術情報クラブの活動へのご参加をよろしく願いたします。近日中に会員登録の更新のご案内を送付いたしますので、更新をお願いいたします。

また、新技術情報クラブやメルマガへの要望、各社での技術相談希望などありましたらご連絡をいただけますようによろしく願いたします。

【2】 3/3

平成 28 年度「山梨大学客員社会連携コーディネータ研修」を実施
<http://www.yamanashi.ac.jp/8399>

平成 29 年 3 月 3 日（金）、甲府キャンパスにおいて、山梨大学客員社会連携コーディネータ研修を実施しました。

客員社会連携コーディネータは、本学と包括連携協定を結んでいる自治体や金融機関等のネットワークを活用して、大学の研究成果を地域で有効利用するとともに、社会連携活動の推進に携わる人材の育成を図り、さらなる地域の活性化に資することを目的としたもので、平成 18 年度に創設した制度です。

研修会では、早川正幸理事・副学長による開会挨拶の後、社会連携・知財管理センター職員による本学の産学連携活動やシーズの紹介、各連携企業による活動事例の発表、内藤久俊 地域連携コーディネータの事業の報告がありました。

研修後には委嘱式および表彰式を行い、平成 29 年度のコーディネータを 13 機関 300 名に委嘱するとともに、平成 28 年度に顕著な活動を行った 4 名を表彰しました。

[3] FC EXP02017(3/1-3/3) 山梨パビリオン 大盛況
「やまなし水素・燃料電池ネットワーク協議会便り（第 12 号）」より

国際水素・燃料電池展には、大勢の来場者がありました主催者発表によると、太陽電池展、二次電池展等と合わせて合計 62,000 名を超える来場者があったとのことです。山梨パビリオンにも多くの来訪者がありました。

特に毎日 15 時には、山梨ワインを振舞うということもあり、大勢の来訪者がミニコップを傾けていました。トピックス抜粋を下記します。

(1) やまなしパビリオン紹介記事

山梨パビリオンがネットのニュースで紹介されました。
<http://response.jp/article/2017/03/02/291518.html>

(2) やまなし FC スタック 展示報告

山梨大学は山梨県から委託を受け、県内企業の人材育成を目的に燃料電池スタックを開発しました。設計、製作のほとんどを県内企業で行い、1 年かけて出力 100W 級のスタックを開発しました。今後は、ブラッシュアップし、製品化を目指していく方向です。今後更により多くの県内企業が参画することを期待しています。

- ・ 開発したスタックは、国際水素・燃料電池展に展示しました。
<http://www.sannichi.co.jp/article/2017/03/05/00180900>

○「やまなし水素・燃料電池ネットワーク協議会便り」（無料）の配信を希望される方は、下記アドレスまでご連絡をお願いします。

hfc-info@yamanashi.ac.jp

[4] 未来計画研究社 平成 29 年度 Mirai プロジェクトの募集について
<http://www.coc-plus.yamanashi.ac.jp/1737/>

このたび、未来計画研究社 平成 29 年度 Mirai プロジェクトの募集を開始します。学生と一緒に新しいプロジェクトをはじめてみませんか？
詳細は、別添チラシをご覧ください。

○チラシ URL

<http://www.coc-plus.yamanashi.ac.jp/wp-content/uploads/2017/03/c9a90202407416bbdef066441d3becfa.pdf>

○申し込みフォーム <http://www.coc-plus.yamanashi.ac.jp/miraiproject/>

※未来計画研究社とは

甲府市「こうふフューチャーサーチ普及促進事業」と文部科学省・山梨大「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」との連携により、県内大学の生を対象とした実践型教育の場である「未来計画研究社」をこ秋にスタートさせました。

「未来計画研究社」は、複数の「Mirai プロジェクト」により構成され、学生は「社員（プロジェクト・メンバー）」としてエントリーし、これらのプロジェクトを実施します。



■02 公募情報 (4件)

[1]【公募受付開始】関東経済産業局

平成 29 年度 中小企業知的財産活動支援事業費補助金 公募開始
(地域中小企業知的財産支援力強化事業)

公募期間 平成 29 年 3 月 7 日 (火) ~ 4 月 10 日 (月) 17 : 00 必着

関東経済産業局は、平成 29 年度中小企業知的財産活動支援事業費補助金(地域中小企業知的財産支援力強化事業)の公募を開始しました。

http://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/tokkyo/29fy_chizaishien_kyouka.html

本事業は、中小企業等に対する知的財産支援の先導的な取組に要する経費を補助し、知的財産支援体制の構築や連携強化の促進等による地域における知的財産支援の強化を図るとともに、優れた取組事例を全国展開することにより、中小企業等による知的財産の保護・活用を促進することを目的としています。今回、本補助金の対象となる事業を実施する事業者を次の要領で募集いたします。

●補助対象となる事業

本事業において補助の対象となるのは、具体的には以下に掲げる事業の全部又は一部とし、A、B、C、Dにより提案するものとします。

①個別・直接支援重視事業(申請区分 A)

地域の中小企業等の知的財産活用を促進するために、専門家派遣等の個別、直接的な支援を重視した先導的な事業。

②先導的仕組み構築重視事業(申請区分 B)

地域の中小企業等の知的財産活用を促進するために、地域における先導的な仕組みづくりを重視した事業。

③広域・連携型先導的仕組み構築重視事業(申請区分 C)

複数者の連携による中小企業等の知的財産活用を促進するための先導的な仕組みづくりを重視した事業であって、地域間の実施や連携によるもの。

●応募資格

本事業の対象となる応募者は、次の条件を満たす法人(地方公共団体を除く)とします。コンソーシアム形式による応募も認めますが、その場合は幹事法人(申請者)を決めていただくとともに、幹事法人が応募書類を提出してください。ただし、幹事法人が業務の全てを他の法人に委託することはできません。なお、幹事法人にのみ交付決定を行います。

- 1) 日本に拠点を有し、法人格(内国法人格)を有していること。
- 2) 事業の管理運営について責任をもって実施する事業者であること。
- 3) 本事業を的確に遂行する組織、人員、能力等を有していること。
- 4) 本事業を円滑に遂行するために必要な経営基盤を有し、かつ、資金等について十分な管理能力を有していること。
- 5) 経済産業省所管補助金交付等の停止及び契約に係る指名停止等措置要領

(平成 15・01・29 会課第 1 号) 別表第一及び第二の各号第一欄に掲げる措置要件のいずれにも該当しないこと。

●補助率

事業内容に記載する各事業の補助率は、以下のとおりです。

- 1) 個別・直接支援重視事業(申請区分 A):
補助対象経費の 1/2 以内(地方公共団体の負担する額以内)
- 2) 先導的仕組み構築重視事業(申請区分 B):
補助対象経費の 1/2 以内(地方公共団体が補助事業に要する経費の 1/4 以上を負担する場合に限り)
- 3) 広域・連携型先導的仕組み構築重視事業(申請区分 C):
定額(1 千万円を上限とします)

●公募期間

- ・募集開始日 平成 29 年 3 月 7 日(火)
- ・締切日 平成 29 年 4 月 10 日(月) 17 時必着

●公募要領、関連書類等について

公募要領、関連書類等は、ホームページでダウンロード可能です。

●応募書類の提出先・問合せ先

〒330-9715 埼玉県さいたま市中央区新都心 1-1
関東経済産業局 地域経済部 産業技術課 特許室
担当: 片桐、西村、本間 FAX: 048-601-1287
E-MAIL: kanto-chizai@meti.go.jp

※お問い合わせは電子メール又は FAX でお願いします。電話でのお問い合わせは受付できません。

※お問い合わせの際は、件名(題名)を必ず「中小企業知的財産活動支援事業費補助金(地域中小企業知的財産支援力強化事業)」としてください。他の件名(題名)ではお問い合わせに回答できない場合があります。

[2]-[4]【ステージ別 応募受付中】

JST 研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)

- ・平成 28 年度 ステージⅢ: NexTEP-A タイプ(第三回)
- ・平成 29 年度 ステージⅡ: シーズ育成タイプ
- ・平成 29 年度 ステージⅢ: NexTEP-B タイプ

O<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/index.html>

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)は以下要領で、研究成果展開事業研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)公募を受付中です。

支援対象、タイプ別まとめがご覧になれます。

<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/index.html>

【ステージ別の公募期間、公募詳細】

リンク先で確認下さい。

○平成 28 年度 ステージⅢ: NexTEP-A タイプ(第三回)

- ・公募期間 平成 28 年 11 月 30 日(水)~平成 29 年 3 月 31 日(金) 正午
- ・公募詳細 <http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/h28nexttep-a-1.html>
- ・支援目的: 企業ニーズを踏まえた、企業による大学等の研究成果に基づく研究シーズの実用化開発を支援
- ・応募要件: 実用化を目指す未だ企業化されていない新規な研究シーズ※が

存在し、かつ、JST への独占的実施権の設定に関して、当該研究シーズ所有機関等による同意が得られていること。

○平成 29 年度 ステージⅡ：シーズ育成タイプ

- ・公募期間 平成 29 年 3 月 1 日（水）～5 月 11 日（木）正午
- ・公募詳細 <http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/h29stage2-1.html>
- ・概要：大学等の研究成果に基づく顕在化したシーズの可能性検証及び実用性検証のため、産学共同での本格的な研究開発を実施します。社会的・経済的なインパクトに繋がることが期待できるイノベーションの創出に向け、科学技術の知見に基づいた、中核となる技術の構築、或いは中核技術の構築に資する成果を得ること（例：中核技術の構築の障壁となる技術的リスクの低減等）を目指します。シーズ育成タイプによる支援終了後には、得られた成果を基に、企業において実用化に向けた研究開発を継続していただくことを期待します。

○平成 29 年度 ステージⅢ：NexTEP-B タイプ

- ・公募期間 平成 29 年 3 月 1 日（水）～6 月 9 日（金）正午
- ・公募詳細 <http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/h29nextep-b-1.html>
- （概要）大学等の研究成果に基づく実用性が検証されているシーズのうち、研究開発型企業の比較的小さな規模の実用化開発を支援します。研究開発型の企業が企業化の難しい開発（以下、「開発」という）に果敢に挑戦し、イノベーションの創出に寄与することを期待します。開発期間終了後、開発成果を実施して売上等の収入が計上された場合、企業は JST に成果実施の対価としての実施料を支払います。JST は支払われた実施料から JST 分を差し引き、シーズの所有者へ還元します。

●公募要領等、説明資料 等

各ステージ別のホームページに掲載してありますのでご利用ください。

●本件に関するお問い合わせ

研究成果最適展開支援プログラム A-STEP
〒102-0076 東京都千代田区五番町 7 K's 五番町
国立研究開発法人科学技術振興機構 A-STEP 募集担当窓口
Tel: 03-5214-8994 Fax: 03-5214-8999



■03 プレスリリース (2 件)

[1] 3/7 本学の古屋文彦講師、北村健一郎教授らの研究グループが
「甲状腺ホルモンが慢性腎臓病の悪化を防ぐメカニズムを解明」
https://www.yamanashi.ac.jp/wp-content/uploads/2017/03/20170308pr_3.pdf

本学の古屋文彦講師、北村健一郎教授(内科学講座第 3 教室)らの研究グループは、慢性腎臓病のモデルマウスを用いて、甲状腺ホルモンが腎障害進行の抑制に重要な役割を担っていることを世界で初めて明らかにしました。

本研究は、Nature 出版 Scientific Reports に、日本時間の 3/8 19:00 にオンライン掲載されます。

(掲載 URL : <http://www.nature.com/articles/srep43960>)

[2] 3/8 ワインに関する情報交換会・国際交流会の開催について
<http://www.yamanashi.ac.jp/wp-content/uploads/2017/02/20170217pr.pdf>

山梨大学付属ワイン科学研究センターをフランス・モンペリエ農業科学高等教育国際センターに所属する14か国18名の学生と教員5名が視察しました。

山梨大学は、昨年3月にヨーロッパを中心とした世界21か国が加盟するブドウ・ワイン関係の教育研究機関と連携を結びました。

今回、連携機関であるモンペリエ農業科学高等教育国際センターの23名の教員が来学し、日本のワイン生産の状況の視察と学生・教員と情報交換・交流会に参加する旨、各報道機関にご案内いたしました。

日時：平成29年3月8日（水）17：30～19：30

場所：山梨大学付属ワイン科学研究センター（甲府市北新1-13-1）

□■

■04 イベント情報（3件）

[1] 3/18 連続市民公開講座2016「第10回 植物の香り」

講師：生命環境学部 准教授 鈴木俊二

<http://www.yamanashi.ac.jp/8318>

山梨大学は今年度も読売新聞甲府支局と共催し、「創る～山梨のチカラを活かして～」と題した全10回の連続市民講座

を開催します。今回は最終回です。山梨発の“チカラ”を活かして創り出された新しい技術や、医療の進歩による未来、

心を豊かにする文化についてとりあげます。

○開催日 平成29年3月18日（土）

○会場 山梨大学 甲府東キャンパス A2-21 教室（地図）

○定員 330人

○時間 午後1:30～3:00まで（午後1時開場）

○受講料 無料

○講義紹介

○講義題目 職名 講師名

「植物の香り～植物が生き残るための重要な武器」

生命環境学部 准教授 鈴木俊二

○テーマ：植物はなぜ香りを発するのでしょうか？子孫を残すために花の香りでミツバチを呼び寄せたり、逆に、害虫を忌避する香りを茎や葉から発したり。われわれ動物とは異なり、進化の過程で「動かない」ことを選択した植物は、香りを出すことによって周りの生物とコミュニケーションをとっています。植物は香りを使って巧みに生存戦略、環境適応戦略を構築しています。本講義では、植物のコミュニケーション・ツールである香りに関する最

新の知見を紹介するとともに、ワインの香りに起因する物質をなぜブドウが作るのかを説明します。最後に、ワイン科学研究センターの最新のデータを示して、ブドウの香りの研究が山梨の重要な地場産業であるワイン造りにどのように貢献しているかを紹介します。

○申し込み先・問合せ先

〒400-8510 甲府市武田 4-4-37

山梨大学教務課「山梨大学教務課連続市民講座担当」

電話：055-220-8043、FAX：055-220-8796

電子メール：koukai-kouza@yamanashi.ac.jp

（電子メール題名は「連続市民講座申し込み」としてください。）

[2] 3/22 中小企業等経営強化法 概要説明会のご案内

<https://www.yiso.or.jp/topics/461.html>

山梨県よろず支援拠点（公益財団法人やまなし産業支援機構内）では、平成28年7月1日に施行された「中小企業等経営強化法（経営力向上計画）」及び「中小企業経営強化税制」に関する説明会を開催いたします。

平成29年度税制改正大綱において、経営力向上計画に基づき取得する設備について固定資産税の軽減措置の対象が拡大されることや、中小企業投資促進税制の上乗せ措置（生産性向上設備等に係る即時償却等）が改組され「中小企業経営強化税制」となること等について説明する予定です。

【詳細】

日時：平成29年3月22日（水） 13:30～17:00

場所：アイメッセ山梨 4階会議室

定員：100名

講師：関東経済産業局 産業部 中小企業課 担当官

内容：1. 主催者挨拶 13:00～13:40

【山梨県よろず支援拠点／コーディネータ 中嶋豪】

2. 活動報告 13:40～13:55

【山梨県よろず支援拠点の活動報告】

3. 説明会 13:55～15:25

【中小企業等経営強化法に関する説明】

4. 個別相談会 15:25～17:00

【申込書兼チラシ】

申込書へ必要事項をご記入のうえ、FAX または E-mail にて、お申し込みください。

https://www.yiso.or.jp/topics/461/%E6%82%EB%82%B8%8E%89%87%8B%92%93_%97I_%90%E0%96%BE%89%EF%83%60%83%89%83V_170221.pdf

※「中小企業等経営強化法（経営力向上計画）」につきましては4月より制度が拡大します。

- （1） 固定資産税の軽減措置の対象が広がります。
- （2） 「中小企業経営強化税制」（法人税の特別償却・税額控除）が創設され、経営力向上計画と紐づけされます

【主催および問い合わせ先】

山梨県よろず支援拠点（公益財団法人やまなし産業支援機構内）

[3] 4/5 山梨大学 COC「地域課題解決科目 学生発表会」開催のご案内
<http://www.coc.yamanashi.ac.jp/1438>

山梨大学では、平成28年度から「地域課題解決人材育成プログラム」を本格実施しています。プログラムでは、地域を題材とする地域志向型共通教育科目やコース専門科目のほか、アクティブラーニングによるフィールド実習を中心に地域の課題を解決する能力を身につける「地域課題解決科目」から構成されています。

本発表会では、「地域課題解決科目」による活動の発表を通して、学習成果の確認と地域社会や活動協力諸団体への

成果報告及び、各種提言を行います。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

記

【日時】平成29年4月5日(水) 10:00~13:30 (受付・開場 9:30~)
【会場】山梨大学甲府西キャンパス 総合研究棟1階フロア・Y11 教室

【申込】チラシFAXまたはメールにてお申込ください。
なるべく事前のお申込をお願いします。

【チラシ】下記を参照ください。

<http://www.coc.yamanashi.ac.jp/wp-content/uploads/2017/03/1e11364cf6d971bb7d4d0f39ef251aa9.pdf>

【プログラム】※詳細はチラシをご覧ください。

「報告会」

10:00~ 主催者挨拶

10:05~ 地域課題解決人材育成プログラム及び地域課題解決科目の説明

10:35~ 地域課題解決科目・学生発表（ポスター発表）

「表彰式」

12:00~ 優秀者表彰

12:15~ 懇談会

13:30 閉会

■お申込先■

山梨大学地域未来創造センター・COC 部門
TEL : 055-220-8129 FAX : 055-220-8702
E-mail : coc-event@yamanashi.ac.jp

□■

■

- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
- 2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。

■□■